

令和4年度 見学研修会報告

今年度の見学研修会は、8月23日(火)に国際医療福祉大学・成田キャンパスにて実施されました。大学の皆様には、一昨年度、昨年度とも実施直前まで準備をしていただいておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、私たちは中止を余儀なくされました。今回3年ぶりに見学研修会を実施することができました。その内容の概略を報告します。



1 開会行事

- ・部会長挨拶

千城台高等学校校長
久保木 孝雄 先生

- ・会場大学より

成田キャンパス 事務局長
榎森 洋 先生

国際医療福祉大学は、「病める人も障害をもつ人も健常な人もお互いを認め合って暮らせる、共に生きる社会の実現を目指す」という精神のもと、医療に関する専門家を養成するために建学されました。そのため、「幅広くバランスのとれた良識ある人間性を身につける」、「教育研究の成果を社会に還元する」、「グローバル化を考え、国際性を意識した教育をしていく」、これらのことを大切に、学生教育を行っているとのことでした。

成田キャンパスは2016年4月に開設された際に、成田看護学部、成田保健医療学部が設置されました。2017年には医学部が開設

されて、今年度で6年目になり、第1期生が卒業に向けて頑張っているそうです。

また、新型コロナウイルス感染拡大の中、当初の予定を前倒して、2020年3月に附属病院を開業しました。

さらに、来年度からは介護福祉学部とその介護施設の開設も予定しています。

2 講義①

「診療放射線技師養成課程における数学教育」

成田保健医療学部
放射線・情報科学科
准教授 岡村 直利 先生

岡村先生は、素粒子論がご専門で、この講義では、大学・学部・学科の紹介、医療技術者養成教育における数学科目の内容・位置付けと履修の状況、医療と数学・物理学との関わり、入学生の読解力が低下している様子など、多岐に渡りお話をしてくださいました。



診療放射線技師 (Radiological Technologist) に関するお話では、フーリエ変換の要点、フーリエ変換と逆フーリエ変換を多用す

ることで処理した画像を診断に役立てるための技術、学生さんへの指導の様子などについて教えてくださいました。

また、X線を用いるCTと、ラジオ波を用いるMRIとの違い、特にMRIの核磁気共鳴のしくみを、詳しく説明してくださいました。

3 講義② 第1部

「RSA暗号と整数論」

成田保健医療学部 医学検査学科
教授 稲垣 誠一 先生



稲垣先生は、計量経済学が専門です。

この講義では、暗号の技術についてのお話をしてくださいました。

暗号の歴史や種類、RSA暗号の発明により、共通鍵暗号方式から公開鍵暗号方式へと変わったことで、情報通信の安全性が保たれていることを、鍵の移送問題、RSA暗号での鍵の作成手順、暗号化と復号の計算などのお話を通して、教えてくださいました。また、復号鍵を求めるための計算は、現代の高速なコンピュータを駆使しても事実上不可能であり、鍵は安全であること、さらにRSA暗号の原理が、電子署名にも利用されていることを説明してくださいました。

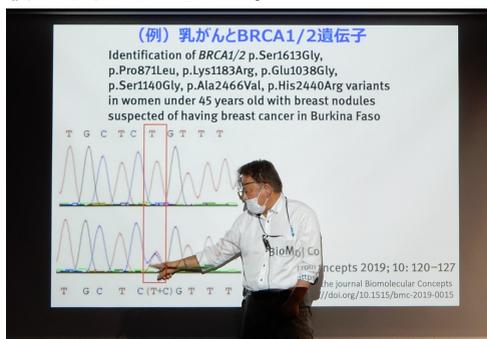
4 講義② 第2部

「ひとりひとりのゲノム医療」

成田保健医療学部 医学検査学科
准教授 山口 良孝 先生

山口先生は、臨床検査技師を養成するための指導をされています。先生は「病院では、ドクターを中心として、たくさんの専門的なスタッフが携わり、患者さんの健康を維持する、もしくは命を助けるということを、みんなで総力を挙げて行っている」、「臨床検査技師はドクターから注文を受けた検査項目を片っ端からすべて調べる」とおっしゃっていました。そして、いま二人に一人が癌にかかり、三人に一人が癌で死ぬという時代の中で、臨床検査において2018年から始めたがんゲノム医療のお話をしてくださいました。

がんができるしくみ、がん発症時の細胞の状態、治療データの蓄積により患者さんのDNAを調べることで高い確率でその人に効く抗がん剤が得られる時代になっていることを教えてくださいました。



5 閉会行事

- ・副部会長挨拶

船橋法典高等学校校長
田口 英彦 先生